

## 新社屋&新社長で新たなスタート

取材先 不二電機株式会社

代表取締役社長 宮本 大三

今年4月、設立70期を迎えられた不二電機株式会社。5代目社長に就任された宮本大三社長にお話を伺ってきました。

### 創業者に期待された5代目新社長

不二電機株式会社の前身である藤本電業社は、昭和22年に創業。大阪市平野区に本社を構える電設資材の総合商社です。

今期で会社設立70期という記念の年に、5代目社長に就任された宮本社長は本社所在地と同じ平野区出身の53歳。高校を卒業し、18歳で不二電機株式会社に入社されました。4人兄弟の末っ子で、ご兄弟が進学されていたので、宮本社長も進学を考えていましたが、お父様から「お前は商売が向いている」との助言を受け、就職することを決めたそう。不二電機に決めた理由は、地元企業の、家が近く、営業職ができるということだったそうです。

入社して6年目の24歳の時、新設する南大阪営業所の初代所長に大抜擢されました。自分には務まらないのではないかと思いつたそうですが、創業者で初代社長の藤本栄造社長より「君に開設費用の5億を任せる。損してもいいから思い切ってやってみろ。その代わり、血尿が出るまで頑張れ!」と言われて覚悟を決めたそうです。「社員は私を除いて年上が5人で、年下は1人だけ。尊敬する社長から直々に任された使命ですから、期待に背くわけにはいかないという責任感だけで昼夜を問わず仕事に没頭しました。当時は振り返ると、若くしてとても貴重な経験をさせていただいたと思います。」と自らを大きく変えたターニングポイントを教えてくださいました。

その後、営業所の所長として、南大阪営業所で4年、藤井寺営業所で3年、新宮営業所で2年務めた後、本社営業課の責任者として着任。3代目社長の吉本社長から、売上が8億3,000万だった本社営業課を「5年で15億にしてくれ!」との言葉を受け、見事4年で達成。そして、役員に若くして登用され、今年4月より社長に就任されました。「南大阪営業所の所長に抜擢してくださった藤本栄造社長、役員に登用してく





ださった吉本社長、この2人から経営哲学を学びました。藤本栄造社長は帰宅される際、必ず本社営業課の扉の前で私たちが全員へ一礼して帰社されていきました。常に社員を大切に思っておられる姿が印象に残っています。

す。吉本社長とは会長として引退されてから今も交流があり、折に触れて可愛がっていただいております。尊敬する人をと聞かれると、すぐにこのお二人の顔が思い浮かびます。」と、宮本社長の経営哲学にはお二人から受けた社員を大切に作る姿勢が強く影響しているそうです。

### 新社屋完成、第二創業に向けて

宮本社長が生まれた昭和43年に建てられた旧社屋は耐震の関係などにより53年ぶりに建て直すことに。創業者の藤本栄造社長の誕生日である1月17日に竣工し、3月1日に本社営業課兼倉庫棟がオープンしました。「実は今年が、藤本栄造社長の生誕100周年で、自分と同じ誕生日に建てた建物が生誕100周年の誕生日にリニューアルできたことは、何かの縁かなと思います。竣工の際に、お祝い品やご祝辞を頂戴したメーカー様やお客様にはとても感謝しております。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。新社屋には、さまざまなメーカー様の製品を設置しております。環境に配慮した造りにもなっており、環境省が定義する「ZEB」の認証を受けています。また、新しい社屋で社員

が生き生きと働いてくれている姿を見ることができて、とても嬉しく思っています。」と教えていただきました。

今後の会社としての目標は、「第二創業に舵を切る」とのこと。「社内外に、不二電機は日々成長し変わっていくのだということを知っていただけるように」と思っております。企業には輪廻があると思っておりますので、何かを変えていかなければ衰退期を迎えてしまいます。あらゆるものを改革しながら、創業期の熱い思いを社員全員が共有し、会社を盛り上げていきたいなと思っております。そして不二電機が活気のある会社であると評価されるように、まずは内側から改革していけたらいいなと思っております。」と今後ますます飛躍していけるような取り組みを実施していきますとのことです。

### 18歳で野球チームを立ち上げ

趣味は、小学生の時からはじめた野球で、18歳の時に中学時代に同じ野球部だった仲間と「ライセンス」というチームを立ち上げ、今も続けられています。「社会人になって忙しくなってもみんなで集まれる場所を作り



たいということと同じ野球部で仲が良かったメンバーでチームを作り、今は、若いメンバーも入って活動を続けています。運動不足解消になりますし、活動後にご飯に行くのも楽しみです。立ち上げメンバーとはいっても何時間でも話ができて、良い仲間を持つことができたと思っています。」

また、同時に会社の野球チームの活動にも参加しておられるそうで、今年の大電材野球大会ではBチームが優勝、Aチームが準優勝という好成績を収められました。また、20歳の時に大先輩に無理やり連れられてはじめてゴルフも、今ではライフワークになっているそうです。

宮本社長のモットーは「善敗自由」だそうです。すべての結果は自分次第であり、成功や失敗、良いことも悪いこともすべては自分次第であるということを肝に銘じているそうです。今後も新たなことにチャレンジしていく歴史が築き上げてきた不二電機を100年、そしてその先まで受け継いでいくよう、社員と共に誠心誠意務めていけると確信しました。

